



おおつきちようびんちようたんせいさんくみあい  
大月町備長炭生産組合

優秀賞

特別賞

～資源循環利用による持続的産業を目指して～



団体の構成・役割分担



小学校での「製炭学習」



植樹祭

## 経緯

- 戦後の燃料革命により木炭の利用は激減し、当町の炭焼き文化も淘汰された。
- 平成20年頃、豊富に分布するウバメガシ資源の有効利用に着目し、最も収益性の高い産業として、備長炭製炭業を位置づけ、地元の若者等と持続可能な産業を目指す挑戦を開始した。

## 取組内容

- 貴重な資源であるウバメガシを将来に残すべく、循環利用可能な「山づくり」、どんぐりを拾って育てる「苗木づくり」、育てた苗木を植栽する「植樹祭」の開催等、「人と自然の共生社会づくり」に取り組んでいる。
- 国、県及び町職員と連携し、地元小中高生の森林環境教育を継続的に開催。
- 持続的産業を目指し、300年以上の歴史を有する紀州備長炭生産者と交流を開始。

## 活動の効果

- 現在、地元の若者と若手移住者を中心に8名の製炭者が従事し、組合事務局で雇用している1名を含めた9名が備長炭産業で生計を立てている。
- ウバメガシ原木の伐採を担う森林組合や自伐林家の所得向上にも大きく貢献。
- 資源量を考慮した備長炭生産を行いながらも、平均約5,700万円(平成30年度～令和4年度)の売上げを維持。
- 海外への輸出も毎年1トン行っている。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

私たちの活動が将来、様々な分野に波及していくよう更に取り組みを加速させたいと考えています。

## 住所・電話番号・SNS等

幡多郡大月町弘見4163 Tel:0880-73-1633